

夏合宿として笛吹川・東沢の釜ノ沢西俣の沢登りを行った。天候があまり良くなく、少々雨が降る予報であったが、夏合宿ということで雨天行動訓練の意味も込めて雨でも危険の少ないこの沢を選択しての決行となった。

西沢溪谷駐車場から林道を歩き、二俣吊橋を渡ったところから登山道（河原）を行く。鶏冠谷出合で渡渉。ここで一旦登山靴と靴下を脱ぎ、流れを渡る。再び登山靴を履き、左岸の巻道を進むと遥か下方に「ほら貝のゴルジュ」の入り口が見える。ソコで挑もうとする猛者あり。ご無事で・・・と思うが自分の方が沢に不慣れで危険だと思い直し、気を引き締める。

そのままほら貝を巻いて、山の神付近から沢装備を付け入渓。淡々と沢を登ると左手に乙女の滝、また、左右からナメ状の滝が流れ込み、どの滝も美しい。そして、魚留の滝。なるほどこの滝から上は魚が釣れないわけだ。魚留の滝は右岸から巻くが巻き道がやや分かりにくい。慎重に見極め注意して越える。

美しいナメ沢を歩き、両門の滝。ここを西俣へ左から巻く。このあたりから雨。特に増水するほどでもないが、本来乾いている岩が濡れており、慎重に足を進める必要あり。途中一か所、手掛かりが見つからない落ちたら水中にドボンの個所あり。足が震える。何とか岩をつかんで通過できるルートを見つけていただき、突破。幕営適地まで遡る。

幕営地でタープを張り焚火の準備。また雨が降る中、苦労しながら焚火を着ける。思いのほかうまく火が付き、濡れたウエア（途中何でもなし渡渉で水中に転びました）も完全に乾く。

二日目。青空も少し見える天候の中、西俣を進む。昨日までと違って、やや風化した花こう岩に苔がむした滝が次々と現れる。きれいであり滑らず気持ちよく登れる。ほぼ忠実に西俣を詰めあがり、最後倒木が沢をふさぐ状況になったところから、少し沢の右側の樹林の中を行く。稜線の登山道へ出るまで非常に登りやすい沢だった。

大変だったのはこの後。甲武信岳までの登りもつらかったが、徳ちゃん新道の下りが長いこと！本当に疲れた。珍しく次の日太ももが痛かったが、前日のアルコールと徳ちゃんの下りのせいだ。

日本の沢登り発祥の地と言われるだけあり、素晴らしい沢だった。

<コースタイム>

1 日目

07:40 西沢溪谷駐車場

08:20 鶏冠谷出合

09:20 山の神（入渓）

12:15 両門の滝

13:20 幕営地

2 日目

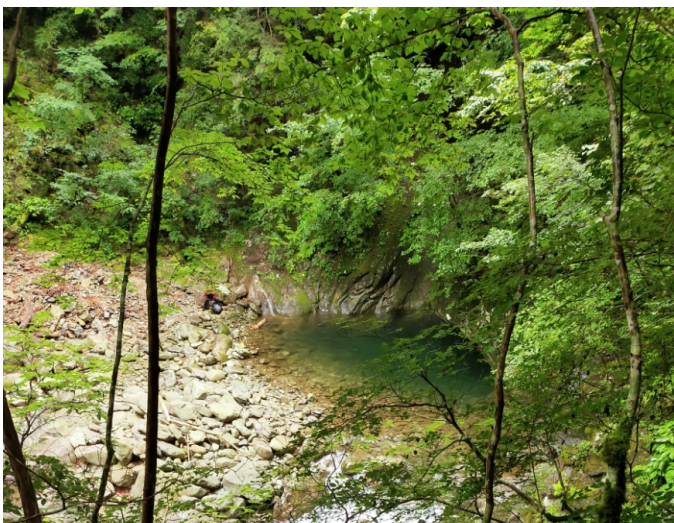
6:40 幕営地

8:40 詰めあがり

9:45 甲武信岳

13:15 西沢溪谷駐車場

ほら貝のゴルジュ入り口



魚留の滝



両門の滝



雨の幕営地



西俣上流部 苔生した滝



甲武信岳山頂にて

